

一般質問



12月11日、12日、13日の3日間にわたって一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考えなどを聞くもので、23人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。会派名は略称です。(正式名称は欄外参照)

高年齢者を住宅火災から守るための対策の拡充を
公明

住宅用火災警報器について、高年齢者宅における設置率向上のため、地域包括支援センターなどの連携により、さらなる啓発などに取り組みむべきと考えるが所見を問う。

答 昨年度から、消防職員が地域包括支援センター職員に対して防火講話を実施している。今後も高年齢者と接する機会をとらえて、助成制度の周知や同警報器の設置、維持管理、火災予防の啓発等を行うともう一つ、同センターとの連携を強化していく。

問 西鉄高宮駅の駅前広場は、行政と地域が一体となって

高宮駅前広場の維持管理に行政の関わりを
自民



高宮駅前アミューズ広場

再開発事業に取り組んできた当初の思いからすれば、行政が地域とともに今後も維持管理に関わるべきと考えるが所見を問う。

答 西鉄高宮駅の駅前広場については、供用開始から30年以上が経過し、施設の老朽化や路面の汚れなどが目立ってきた。維持管理については、時代の流れに伴う価値観の多様化等も踏まえ、地域の意見をしっかりと受け止めながら取り組んでいく。

災害に強いまちづくりへの取り組みを
自民新

問 災害に対しては、ソフト・ハード両面の対策が必要であり、日ごろからの十分な備えと、いざというときに自助、共助、公助の力を結集していくことが重要である。災害に強いまちづくりへの取り組みについて所見を問う。

答 河川改修に加え、博多駅や天神周辺地区では、大規模な雨水貯留施設の整備などに取り組んでいる。また、地域等での防災訓練の支援や、避難所運営エキスパートの養成などにより、地域防災力の向上に取り組んでいる。

「桜を見る会」への市長の参加の是非を問う
共産

問 「桜を見る会」は、公的行事を私物化し、税金を使って選挙活動をしていたという事実上

の買収行為であり、公職選挙法違反である疑惑が深まっている。市長がこのような会に参加することに市民の理解は得られず、問題があるのではないかと問う。

答 「桜を見る会」は内閣総理大臣主催の伝統ある公式行事で、市長として招待されることは名誉なことであるが、会の在り方は、今後国において適切に検討がなされるものと考えている。

電動キックボードの規制緩和の提案の撤回を
共産

問 電動キックボードの運転許可は、全国一律に定めるべきもので、特例を作った良いものではない。今回提案した規制緩和は、市民の安全を脅かしてまで、大企業のもうけ口をつくるものであり、撤回すべきではないかと問う。

答 ラストワンマイルや生活交通の維持等の交通課題が想定される中で、手軽で安全な移動手段としての電動キックボードは、課題解決の一助になると考え、国家戦略特区制度を活用して、規制緩和を提案したところである。

市内在住のアスリートへの支援を
市民ク

問 市民スポーツ受賞者の中から、将来、日本を代表するトップアスリートを誕生させるような工夫が必要である。他都市のようにトップアスリート支援事業に取り組んでほしいが所見を問う。

答 アスリートや競技者への支援については、これまでもスポーツ大会の開催や全国大会出場への一部助成などを行っている。

悪質な客引きを許さない安全なまちづくりを
自民

問 客引きの実態調査の結果では、時間帯によっては多くの客引きがあり、まちの環境悪化や治安の低下などを招く恐れがある。県と協議を行うっていくとのことであるが、その検討状況を問う。

答 現在、県および県警、同じ北九州市、久留米市が参加した5者による検討会が立ち上がり、これまで2回にわたって会議が開催され、規制の在り方や県警との連携の在り方など、悪質な客引き対策について検討を行っている。

公民館と自治協議会・自治会・町内会との連携を
自民新

問 共創の地域コミュニティづくりにおいては、公民館と自治協議会等が、それぞれの実施予定の事業について、目的や対象者などを情報共有し、実施に当たって工夫と連携を高めていく必要があるかと所見を問う。

答 自治協議会や自治会・町内会などと公民館・区役所が連携し、地域の実情に応じた取り組みを進めることが重要である。今後とも、持続可能な地域コミュニティづくりに向けて取り組んでいく。

北崎地区への光通信回線の整備を
自民

問 これからの社会において、通信環境の充実が必須であるが、北崎地区は、市内の離島を除く地域では唯一光通信回線が整備

されていない。通信事業者との協議はどのような状況か、また、どのように考えていくのか。

答 通信事業者からは事業採算性の観点から、民間単独での整備は難しいとの回答を受けている。通信インフラの充実、北崎地区の産業活性化等のために必要と認識しており、令和2年度の予算編成の中で検討していく。

ふるさと納税に体験型返礼品の導入を
令和会

問 令和の時代は、モノからコトへと生活者の興味が進化している。ふるさと納税において本市でないと成立しない体験型返礼品を打ち出すことで、他の市町村と差別化できるのではないかと考えるが所見を問う。

答 ふるさと納税の返礼品については、今般の制度改正により、条件が明確化されたことから、公募の実施により、モノだけではなく、コトの返礼品も加えるなど、種類・品数ともに充実を図っていく。

入札制度の問題について問う
無所属

問 予定価格5億円以上の建築工事において、1者入札の場合は落札率100%に近いものが多いが、複数の者が入札した場合は最低価格90%での落札が多い。入札制度の見直しについてどのように行うのか。

答 総合評価方式については、それまでの同方式の取り組みの検証を行い、その結果、一部の項目については既に8月に制度の改定を行った。同方式については、最低制限価格の在り方についても検討を進めていく。

計画的な学校整備を
令和会

問 西都地区および照葉地区における学校整備計画は、長期推計の視点を持った計画になっていない。まちづくり関係局と積極的に連携し、中長期推計の作成に取り組みしてほしいが所見を問う。

答 人口急増により過大規模校となる学校がある一方で、市全体としては児童数の減少が見込まれ、中長期的な視点を保持して整備を進める必要がある。中長期推計も含めた児童生徒推計の改善について、今後も関係局と連携しながら検討していく。

公立夜間中学校の設置を
市民ク

問 千代中学校で行われている自主夜間中学「よみかき教室」では、本年度に入り問い合わせが多くなっていると聞く。本市においても公立夜間中学設置を進めべきと考えるが、国が示す方針と、今後の取り組みを尋ねる。

令和会…福岡令和会 自民新…自民党新福岡 緑・ネ…緑と市民ネットワークの会